



12月うぶやま天文台星空情報①



月が土星に接近

12月のうぶやま天文台の星空情報の第1弾は、12月17日～18日にかけて、月が土星に接近する情報です。12月17日～18日の月は上弦前の細い月です。日の入り後に夕方の南西の空で目立っています。8月下旬に衝となり、0.4等級まで明るくなった土星も、0.9等級まで暗くなっています。それでも西の空では目立つ存在です。

土星は2025年の環消失に向けて環の傾きが大変緩やかになっています。17日は月の左上に、18日は少し近づき月の左側に位置します。月がそばにあっても、土星は存在感のある輝きを見せてくれるでしょう。夕方、空が暗くなった頃が、最も高い空に見え、観測にはおすすめの時間帯です。2つの明るい天体が並ぶ姿をぜひお楽しみください。この後、土星は足早に西に傾き始めるようになり、土星の観察シーズンは終わりになるでしょう。

12月はふたご座流星群や年末のカウントダウン観察会などの観察イベントが多いため、この観察会は実施しません。



月が土星に接近